

令和4年度 第1回 伊勢市障害者施策推進協議会（自立支援部会） 結果概要

開催日時	令和4年5月13日（金曜）10時00分～11時20分
開催場所	御菌公民館講堂
出席委員	嶋垣 智之 部会長、青木 哲也 委員、大田 桃子 委員、岡田 まり 委員、 奥村 比呂美 委員、川口 幸生 委員、竹澤 尚美 委員、山本 明伸 委員
事務局	高齢・障がい福祉課長・障がい福祉係長、職員1名 福祉生活相談センター職員1名、 障がい者地域相談支援センター長3名
傍聴者	なし

1 各会議の役割及び構成について

事務局より、「伊勢市障害者施策推進協議会運営の手引き（案）」、各会議の役割及び構成、自立支援部会運営会議メンバー（案）について説明。

（委員からの意見等）

【手引きについて】

- ・この手引きは、委員、事務局、行政等それぞれの役割を押し付けるのではなく、みんなで自分たちの課題を解決するための手引きであることを確認したい
- ・委員や事務局の担当者が代わっても協議会の運営方針が変わらず引き継がれていくための手引きであることを確認したい
- ・自立支援部会内部の取り組みは本会の承認を得ることなく自立支援部会で決定ができること、自立支援部会からの提案事項については本会の承認が必要となることを明記に分けて表現してほしい
- ・P16「①自立支援部会（定例会等）」の（定例会等）の記述は削除する方が良い
- ・P16 自立支援部会の「求められる役割」について、「障害福祉計画進捗管理への意見」とあるが、進捗管理だけでなく計画策定の役割も担っているのではないか
- ・P16 自立支援部会の「求められる役割」について、「委託相談支援の評価」とあるが、委託相談支援だけでなく地域相談支援全体の評価とした方が良い

委員の意見を踏まえ、「伊勢市障害者施策推進協議会運営の手引き」を修正すること、自立支援部会運営会議メンバーについて出席委員全員で確認。

2 今年度のスケジュールについて

事務局より、自立支援部会並びに人材確保・養成チーム、就労支援チーム、医療的ケア児者支援チーム、相談支援ネットワークグループの今年度のスケジュールについて説明。

（委員からの意見等）

- ・医療的ケア児者の災害時対応が課題。各関係機関の連携が必要。行政からのバックアップもお願いしたい。
- ・重度障がいの子をもつ保護者からの日中の受け入れ場所や緊急時対応のニーズが依然として高い
- ・就労を希望する人の中には診断書の費用が出せず、ハローワークの就労相談を開始できない人がいる。貧窮世帯の対応も課題にあげることができる
- ・各プロジェクトチームが個別に取り組んでいきながら、全体として連携していく必要がある。医療的ケア児者支援チームの緊急時等の課題は地域生活支援拠点等に繋がることで、人材確保・養成チームでも部会のサービス事業所等連携会議を活用していくとされているし、就労支援チームでの就労相談は障がい受容に繋がる話でチームを越える話でもある。部会にて全体の連携を大事にしたい
- ・パーソナルファイル等を活用した支援者間の途切れのない支援・情報共有が必要
- ・人工呼吸器が必要な小児を預ける場所が少ない。医療的ケア児者を受け入れられるような体制づくりについては、行政のバックアップが必要。それだけでなく、自立支援部会委員で情報共有し、早急に取り組まなければならない

自立支援部会の開催日を以下のとおり決定。欠席委員については、後日事務局から連絡する。

- ・第2回自立支援部会 8月3日（水曜）13：30～
- ・第3回自立支援部会 10月5日（水曜）13：30～
- ・第4回自立支援部会 12月2日（金曜）13：30～
- ・第5回自立支援部会 2月3日（金曜）13：30～

3 地域生活支援拠点事業について

事務局より、地域生活支援拠点事業の今年度のスケジュール等について説明。

(委員からの意見等)

- ・登録者情報をどのタイミングで緊急時受入施設へ提供するか等、モデルケースを通して良い方法を検討してほしい
- ・登録者情報の共有方法について、紙ベースで行うのではなく専用ポータブル端末を利用するなど ICT を活用する方法も検討してもらいたい
- ・先進的な地域生活支援拠点事業を実施している市町を参考にしてみてもどうか
⇒昨年度は愛知県半田市から地域生活支援拠点事業の話を知っている。

今年度は、自立支援部会において、先進的に取り組む市町との研修会(Web会議)を実施していくことを出席委員全員で確認。

- ・地域生活支援拠点事業のような重要なプロジェクトについては、ひとつの事業を終えるまでは行政の担当者を代えないでほしい
- ・今年度の到達目標はどのあたりを考えているか？

⇒緊急時受入体制については、今年度中にある程度かたちにできればと考えている。

- ・ 8月の自立支援部会までに綿密に制度設計を勘案する必要がある。運営会議の方針等を協議していくことになるが、各自立支援部会委員の意見についてはメール等で確認し、意思決定することとしたい

⇒このことについては、出席委員全員で確認。

- ・ 地域生活支援拠点の評価等については、令和4年3月に国から「地域生活支援拠点等の機能充実に向けた運用状況の検証及び検討の手引き」が出されているので参照いただきたい

4 その他

事務局より、資料に基づき令和4年度インクルーシブなまちづくりの取り組みについて説明。

(1) インクルーシブスポーツの推進

5月29日(日曜)開催予定のインクルーシブスポーツフェスタ等について説明。

(2) インクルーシブな遊び場づくり

令和4年度、朝熊山麓公園整備においてインクルーシブ遊具を導入することを説明するとともに、インクルーシブ公園の概要、他自治体の取組事例を紹介。また、遊具設置に関するアンケート調査(インクルーシブ遊具に関する調査)も実施することを説明。さらに、みんなの公園づくり隊iseが主催する「みんなの公園ワークショップ」についても周知。今後、本部会においてもご意見等をいただきながら検討いただくこととしたい。